

身近なところにある

霊の戦い



エペソ人への手紙 6:10~18

6:10 終わりに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。

6:11 悪魔の策略に対して立ち向かうことができるために、神のすべての武具を身に着けなさい。

6:12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。

6:13 ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、いっさいを成し遂げて、堅く立つことができるように、神のすべての武具をとりなさい。

6:14 では、しっかりと立ちなさい。腰には真理の帯を締め、胸には正義の胸当てを着け、

6:15 足には平和の福音の備えをはきなさい。

6:16 これらすべてのものの上に、信仰の大盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢を、みな消すことができます。

6:17 救いのかぶとをかぶり、また御霊の与える剣である、神のことばを受け取りなさい。

6:18 すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。

日常生活も戦場

私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。

(エペソ6:12)

夫婦関係、親子関係、また職場での人間関係、このような分野も、パウロがここで「血肉」と言っている部分ですが、日常生活も、霊的な戦場の場であることを知らなければいけません。

私たちは、日常生活において問題が、悪魔と悪霊どもによってもたらされていることを見失って、それらの問題を、目に見える物理的な方法のみ解決しようとしてしまうのです。

天（空中）にいる悪魔

悪魔はまだ「天にいる」ということです。悪魔は神の御座の周りからは追い出されましたが、まだ地獄に落ちてはならず、底なしの所に鎖でつながれてもいません。聖書には「空中」という言葉が出てきますが、その天に悪魔はいます。

そのころは、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。(エペソ2:2)

ミカエルたちの戦い

こうして、この巨大な竜、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれて、全世界を惑わす、あの古い蛇は投げ落とされた。彼は地上に投げ落とされ、彼の使いどもも彼とともに投げ落とされた。(黙示録12:9)

ここをを見ると、天においてミカエルとその使いたちと、悪魔とその使いたちの戦いが起こって、悪魔が地上に投げ落とされることが書かれているが、それが起こるのは大患難時代の半ばです。つまり、先のことです。

霊の戦いの現実

悪魔は天において活発的に動いています。聖書信仰を持っていると言っているクリスチャンの中にも、悪魔のことをあまり意識しないで、悪魔があたかも存在していないか、どこかで鎖につながれているかのように考える人たちがたくさんいます。霊の戦いの現実を見ていない人が多いのです。

しかし、ここに書かれているように、事実悪魔は、私たちクリスチャンに戦いを挑んでおり、私たちの霊的祝福がある天において、その祝福を奪い去ろうと躍起になっていることを知ってください。

千年間縛られるサタン

御使いが・・・悪魔でありサタンである竜、あの古い蛇を捕え、これを千年の間縛って、底知れぬ所に投げ込んで、そこを閉じ、その上に封印して、千年の終わるまでは、それが諸国の民を惑わすことのないようにした。

(黙示録20:1~3)

神は自由意志をお持ちで、自己決定をする方です。神に似せて造られた私たちも自由意志が与えられ、自己決定できるようにされています。なぜ悪魔が存在するのだろうか私たちは考えますが、悪魔の誘惑によって、私たちは自分が本当に神を愛しているのかそうでないかが試されます。

悪魔は火と硫黄との池に

千年の終わりに、サタンはその牢から解き放され、・・・ゴグとマゴグを惑わすために出て行き、・・・彼らを惑わした悪魔は火と硫黄との池に投げ込まれた。そこは獣も、にせ預言者もいる所で、彼らは永遠に昼も夜も苦しみを受ける。(黙示録20:7~10)

なぜ、解き放されなければいけないのかと、私たちは思うでしょう。悪魔も実は神のプログラムの中にしっかりと組み込まれています。悪魔は神に反抗しながら、実は神に利用されている存在でもあるのです。

偽りの父

盗み、殺し、滅ぼすことが悪魔の主な目的です。悪魔は偽りの父(ヨハ8:44)であり、だまし、疑わさせ、誘惑し、脅し、罪を犯させ、恐れと不安を与え、失望させ、告発します。

恵みによって与えられた武具



祈り 恵み(恩寵)の手段

Wの祝福

盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。(ヨハネ10:10)

対抗できるように すべての武具を

邪悪な日に際して対抗できるように、また、いっさいを成し遂げて、堅く立つことができるように、神のすべての武具をとりなさい。では、しっかりと立ちなさい。(エペソ6:13-14)

- ①**真理の帯** エペソ6:14...真理のことば。私たちに救いへ導く「キリストの福音」。
- ②**正義の胸当て** エペソ6:14...恵みにより、信仰により義とされていること。
- ③**平和の福音の備え** エペソ6:15...神の福音が与えてくれる平安によって、こころが支配されている状態。
- ④**信仰の大盾** エペソ6:16...イエス様を救い主として信じる信仰。神の約束を信じる信仰。
- ⑤**救いのかぶと** エペソ6:17...十字架の恵みにより信仰によって救われた確信。
- ⑥**御霊の与える剣** エペソ6:17...神のことば。聖書のみことば。「聖書にこう書いてある」
- ⑦**御霊による祈り** エペソ6:18...御霊に導かれる祈り。

すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。

(エペソ6:18)